# グローバルフードバリューチェーン協議会 第1回 ASEAN部会

ベトナム農業ビジネスの現状



2014 年 7 月 31 日 株式会社ドリームインキュベータ

# ベトナムの主要産業は農林水産業

# ベトナムの概要

### 基本情報

### 農業中心の産業構造

人口

9,170万人

平均年齡

27.4歳

GDP

約1,700億米ドル(2013年)

(GDP/人)

1,896米ドル(2013年)

地理

南北1,700km(北緯8~23度)

● 北部:四季(温暖冬季少雨気候)

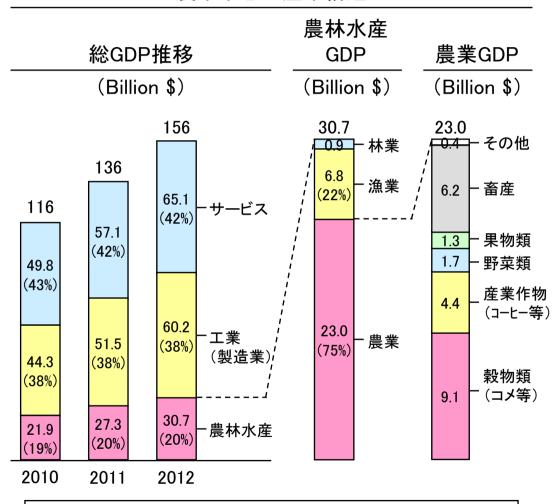
● 中部:高原の冷涼気候

● 南部:熱帯モンスーン気候 (年間通じ温度差が僅か)

<u>面積:33万km²</u>

● 平地は約21%(7万km²)で紅河・ メコン両デルタに集中

出所: General Statistics Office (GSO) in Vietnam、IMF (2013年)、外務省ベトナムの農産物の生産と流通(国際農林水産省研究センター(JIRCAS))

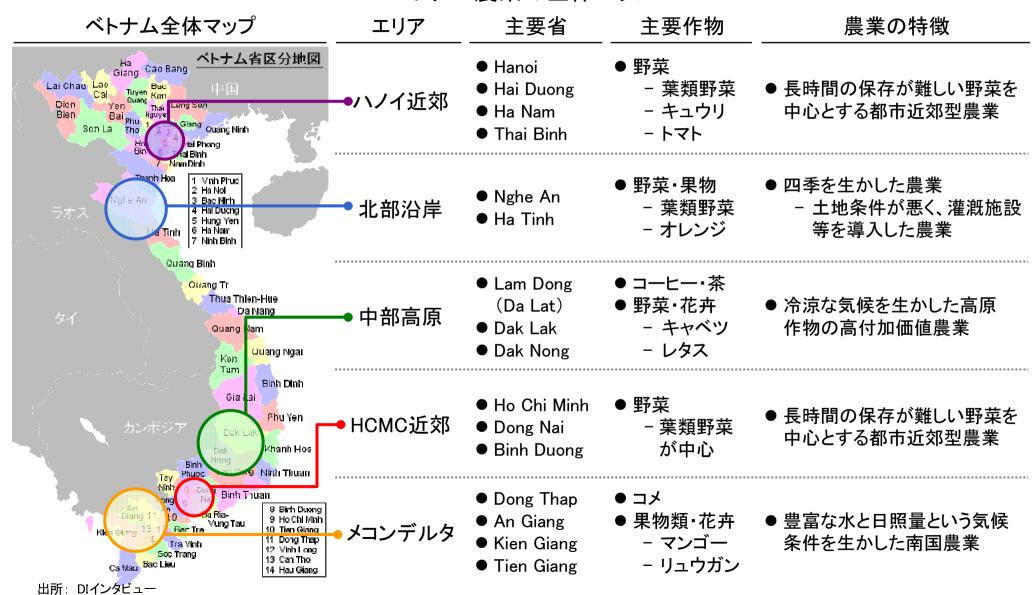


人口の約70%が農林水産関連業に従事



# 各地域の特徴を生かした農業が営まれている

# ベトナム農業の全体マップ





# ベトナムは世界有数の農業大国 2013年の実績

コーヒー 輸出量 世界第2位

コメ 輸出量 世界第2位

ゴム 輸出量 世界第3位

カシューナッツ 輸出量 世界第1位

キャッサバ 輸出量 世界第2位



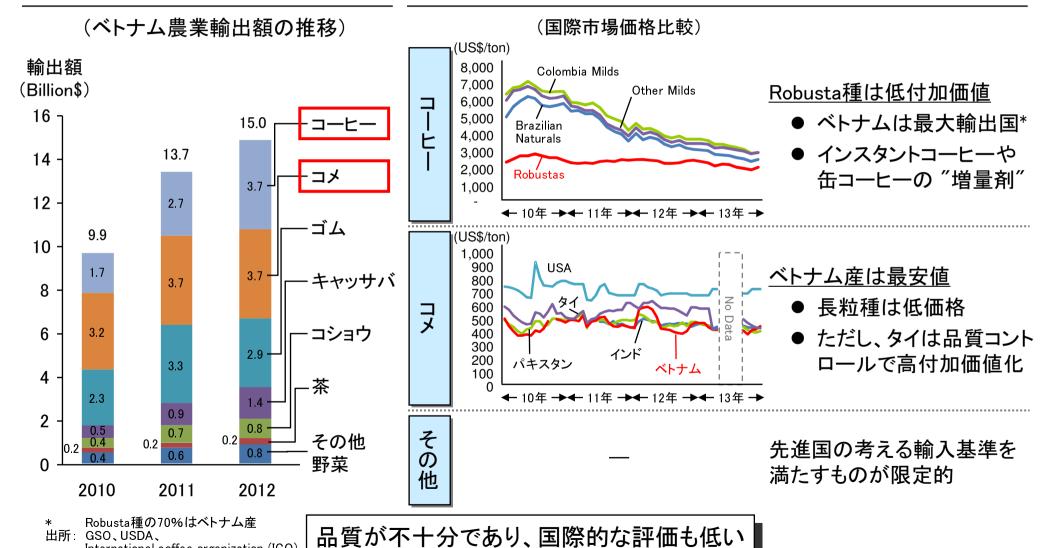
# 輸出規模は拡大しているものの、低付加価値の構造からは抜け出せない

# 農林水産物の輸出構造

### 農産物輸出は順調に拡大

International coffee organization (ICO)

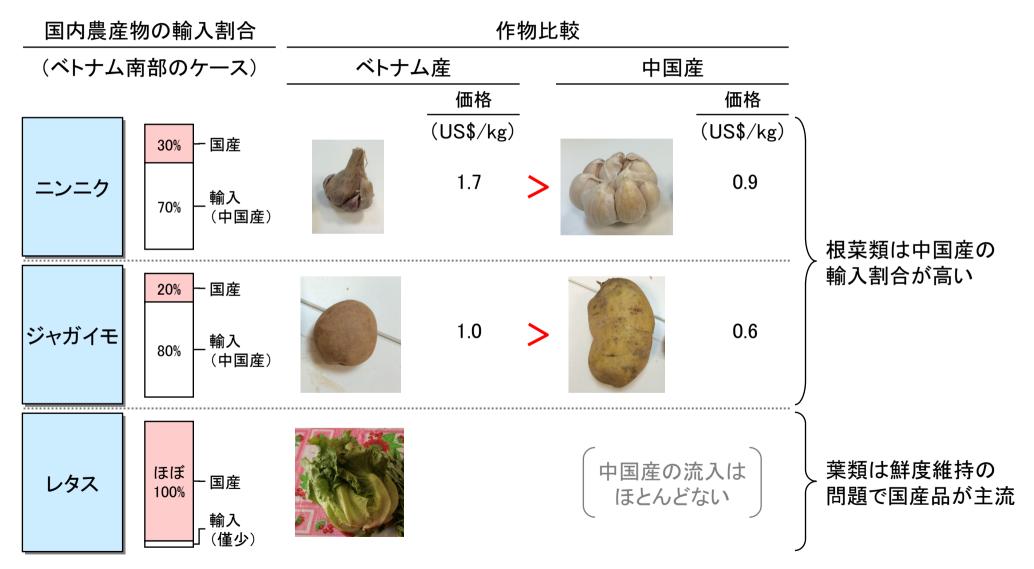
しかし、国際市場では高値がつかない





# 国内市場は中国産農作物の流入による影響を大きく受けている

# 国内農産物市場の比較



出所: DIインタビュー

# 生産、流通の両面に高付加価値化を妨げるボトルネックが存在

# ベトナム農業の課題の全体像

# 生産

### 原材料

# 育成

### 中間流通

### 最終販売

流通

### 輸入品に依存

- 中国から低品質 原材料の輸入
  - 農薬、肥料等



# 小規模で非効率な生産

- 農業教育が不十分
- 市況に合わせて 生産作物を変更



### 複雑/分散した流通構造

- 多くの中間業者
- 加工施設、物流 インフラも不十分



# 伝統的市場中心の販売

● 農産物の8割以上 が市場(GT\*)で 販売



# 課 題

現 状

### 生産コスト高

● 生産時点で、中国 産よりも高い

## 安かろう悪かろうの生産

価格がつかず、 収量特化の生産

### 流通コスト高

- 需給調整が困難
- 中間業者の搾取

# 商品の差別化が困難

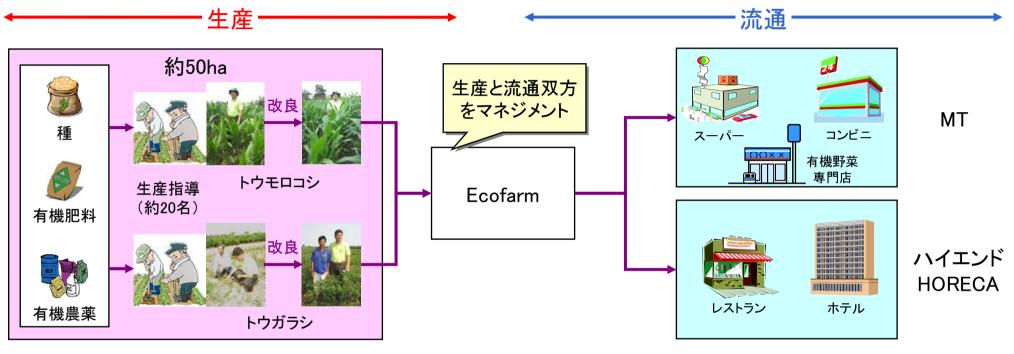
品質・産地情報が 判別不能

GT(General Trade) ⇔ MT(Modern Trade)

出所: DIインタビュー

# 一部プレイヤーはバリューチェーン全体をマネジすることで成功しつつある

# 成功事例(Eco Farm)



# 契約農家を確保し、生産をマネジメント

- 生産すべき作物の特定(高付加価値品)
  - 香り米、トウガラシ、トウモロコシ 等
- インプットとその利用方法を教育・管理
  - 有機肥料/農薬を積極的に利用

## 高品質商品を一定価格で購入する先の確保

- MT(スーパー、コンビニ等)、ホテル/ レストランを中心に販売
  - 品質を重視する販売先であり、継続 的な安定需要が見込める



時間はかかるが、着実に成果が上がりつつある

出所: DIインタビュー

# 日系プレイヤーの進出も進み始めている

# 農林水産分野における日系企業進出の例

進出企業	農作物	エリア	国内/輸出	モデル
木徳神糧	コメ	An Giang省 (メコンデルタ)	国内 •輸出	技術指導   技術指導   大徳神糧・Angimex (An Giang省輸出入公社)   現地販売   東地販売   東地   東地   東地   東地   東地   東地   東地   東
ニチレイ		Tien Giang省 (メコンデルタ)	輸出	技術指導
川上村	レタス	Lam Dong省 (中部高原)	国内	技術指導     技術指導       現地農家指導     現地スーパー       による栽培     直販       での販売

出所: 各社ホームページ、NNA、DIインタビュー

# ベトナムにおける農業ビジネスの可能性 まとめ

ベトナム農業ビジネスのポテンシャルは大きいが課題も山積

- 旺盛な国内需要に加え、周辺国への輸出も視野に入る
  - 輸出量(コーヒー、コメ)では世界有数の農業大国
- 一方、現状は生産面、流通面の双方で課題が存在
  - インプットの質が低い上、生産技術や効率性も低い
  - 流通整備が不十分で、高コストな上、商品の差別化も困難

そのため、バリューチェーン全体で新たなモデルの実現が重要

- 生産と流通の両面をつなぐことで長期的に安定需要を確保
- 高付加価値品を一定の価格で販売する仕掛けを構築

本モデルの実現にはベトナム農家だけでなく、民間企業の参画が不可欠

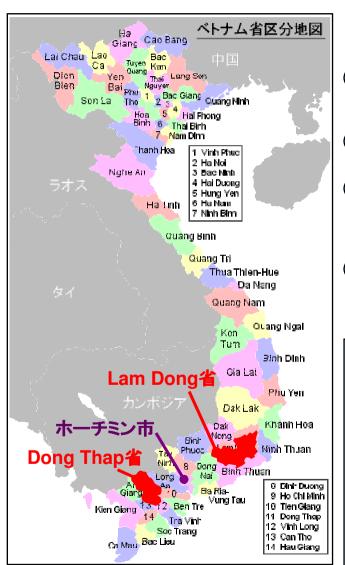
- 農家が高付加価値品を生産しても、一定価格以上で購入されない
- 川下に位置する企業が主導しない限り、農家も変われない

DIでは本モデルを実現するための仕組みを民間企業/省政府と検討中



# DIベトナムでは、農林水産分野におけるベトナム省政府の支援を検討中

# DIベトナムが連携を進めている2省のご紹介



出所: DIインタビュー、GSO

Dong Thap省
(メコンデルタ)

Lam Dong省 (中部高原)

地理

ホーチミン市から西に165km

● 車で3~4時間程度

人口

160万人

(GDP)

20億USドル

うち、農林水産

9億USドル

GDP/人

農業の

特徴

1,250USドル

ホーチミン市から北東に320km

● 車で6~7時間程度

120万人

19億USドル

9億USドル

1,583USドル

# ベトナ国内有数の農業地域

- 国内3位のコメの生産地
- 国内2位の花卉生産地
- 果物の生産・輸出も盛ん
  - マンゴーはベトナム 1位の生産量

- <u>ハイテク・高付加価値の農業を</u> 実践している最先端地域
  - ▶ 国内1位の花卉生産地
    - ユリ、ラン、バラ 等
  - 果物・野菜の生産量も ベトナムトップクラス
    - ジャガイモ、レタス等

# 民間投資を活用した日越農業協力の可能性(仮)

		品目	企業	ベトナムでの取組可能性		主な課題	(DI仮説)	
		(例)	(例)		契約農家 確保	品質改良 低コスト化	輸送・保存 インフラ	販売先 確保
大	国内向け 商品原料 の生産	ジャガイモ	ホ <sup>°</sup> テチメーカー	ポテチ用イモの生産	0	0	0	自社利用
		アセロラ	飲料メーカー	飲料用アセロラの生産拡大	0	0	0	
		鶏卵	調味料メーカー	・ベトナム産鶏卵の生産・利用	0	0	<b>O</b> )	
大企業	輸出作物 の生産	コーヒー	商社	認証コーヒーの生産・輸出	0	0	Ì	
		コメ	商社	日本米の生産・輸出拡大	0	0	0	輸出先 保有
		果物	食品メーカー	輸出用果物の生産・輸出	0	0	<b>O</b> )	
農業団体	国内需要向け生産	レタス	自治体	国内向けレタスの生産・販売	0	0	0	0
		他野菜	<del></del>	国内向け野菜の生産・販売	0	0	0	0
				<u>ベトナム政府</u>		日本政府		

**日越政府による** 協力(案)

- 農家・農地の確保
- 対象作物の生産奨励
- 不作の場合の補償

- 全体のMP・戦略作り
- 人材派遣・技術移転
- インフラ整備支援
- 販売先の確保
- ブランディング

# (参考) ドリームインキュベータのご紹介

# ドリームインキュベータ(DI)の概要

## 会社概要

主な事業

理 念: "ソニー・ホンダを100社作る"

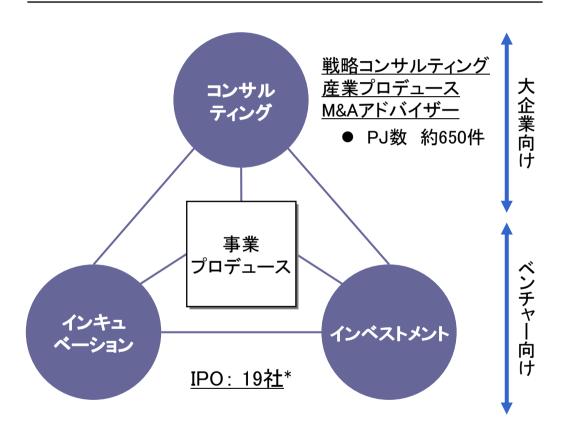
設 立: 2000年6月1日(活動開始)

連結純資産: 143億円\*

人員: 304名\*(連結役職員数)

東証マザーズ上場: 2002年5月10日

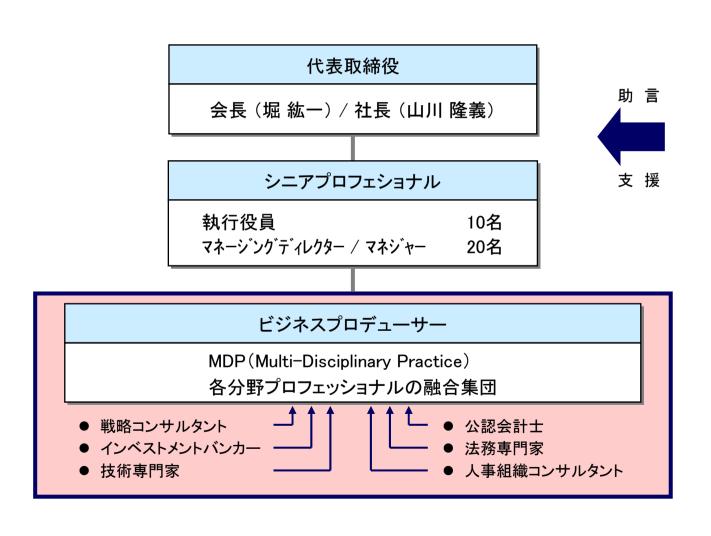
東証一部昇格: 2005年9月26日



あらゆるステージの企業を「育てる」プロフェッショナルファーム

# DIの特徴: MDP(Multi-Disciplinary Practice)\*

# 多様な専門家の英知をDI内で融合・昇華させ、顧客のあらゆる課題・悩みをサポート



### 社外役員 田原 総一朗

田原 松一切 (評論家、ジャーナリスト)

宮内 義彦

(オリックス株式会社シニア・チェアマン)

上野 征夫

(元三菱商事株式会社 取締役副社長執行役員)

橋都 浩平

(元東京大学大学院医学系研究科教授)

内田 成宣

(弁護士) 相葉 宏二

(早稲田大学大学院教授)

### 特別顧問

武田 勝年

(元三菱商事株式会社中国総代表、公益財団法人日中友好会館 理事長)

小川 紘一

(東京大学政策ビジョン研究センター シニアー・リサーチャー)

岩本 隆

(慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 特任教授)

丸山 茂雄

(元ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME) 代表取締役社長、元ソニー・コンピュータ エンタテインメント(SCE)取締役会長)

三枝 成彰

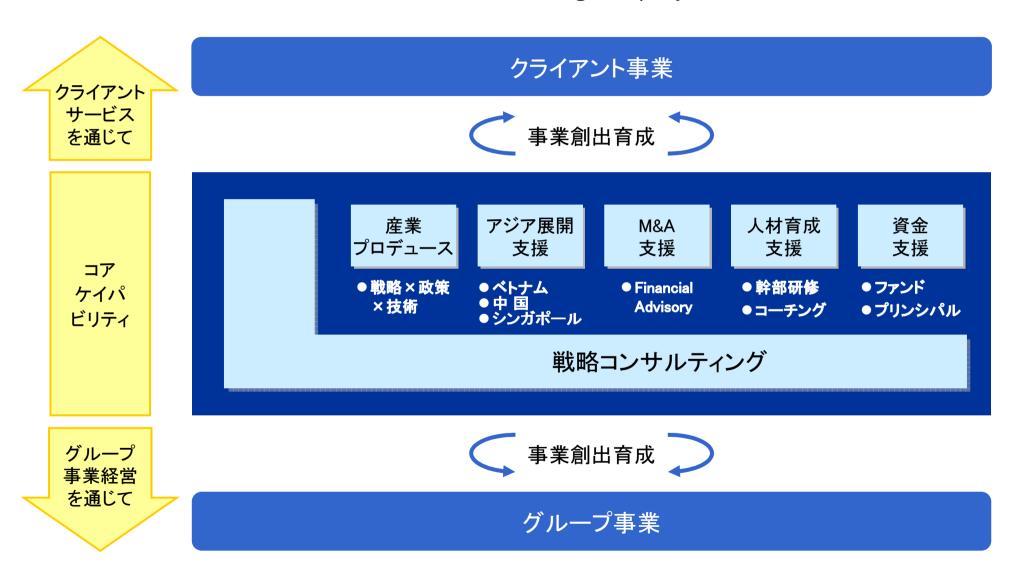
(作曲家、日本モーツァルト協会 理事長、東京音楽大学客員教授)

秋元 康

(作詞家、放送作家)

# DIのビジネスモデル

The Business Producing Company



企業

# コンサルティングの特徴:「ビジネスプロデュース」

### ビジネスプロデュース支援の構造

## ビジネスプロデュース支援の実績例



構想•戦略



支援企業

# 1. 横想(スタートポイント)

● 業界を越えた視野・発想



● 迅速・徹底的な市場分析に 基づく実現への道筋

### 3. 仲間作り

● 社内・顧客・企業・政府・大学・ 世論

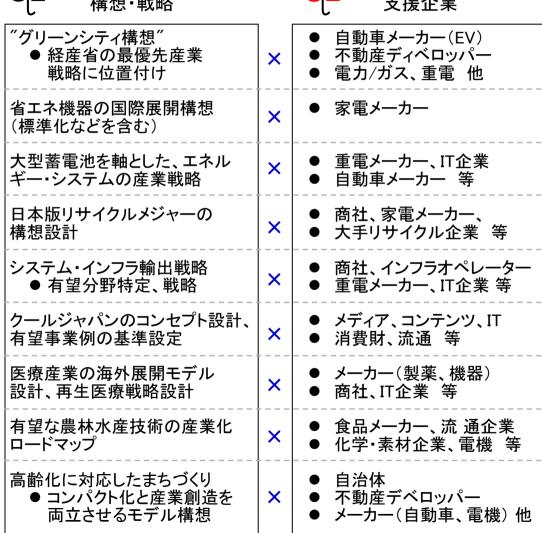
### 4. ルール作り

● ビジネスをうまく回す/業界 慣行を壊すための枠組み

### 5. 社内外ドライブ

● プロジェクトマネジメント

6. 結果を出す(ゴール)



# DIの海外展開

	ベトナムオフィス (Dream Incubator Vietnam Joint Stock Company)	中国オフィス (得爱(上海)企业管理咨询有限公司)	シンガポールオフィス (Dream Incubator Singapore Pte. Ltd.)
設立	2007年11月/ホーチミン市	2010年12月/上海市	2011年8月/シンガポール
事業内容	<ul><li>● ベトナム現地企業に対する</li><li>● 戦略コンサルティング</li><li>● M&amp;Aアドバイザリー</li><li>● フェイスブックマーケティング</li></ul>	● 中国に対する日系企業の進出戦略コンサ ルティング及び実行支援	<ul><li>◆ ASEAN、インド、オセアニアに対する 日系企業の進出戦略コンサルティン グ及び実行支援</li></ul>
現地人員	日本人 3名 - 細野 恭平 (執行役員、VN社長) - 加藤 秀行 (マネジャー) - 田代 雅明 (マネジャー) 現地スタッフ 20名	日本人 2名 - 石川 雅仁(執行役員 兼 DI中国 董事 兼 総経理) - 板谷 俊輔(高級創業経理) 現地スタッフ 8名	日本人 1名 - 松田 励 (DIシンガオ゚ール社長) 現地スタッフ 3名
主な 実績	<ul> <li>DIアジア産業ファンド(DIAIF)の運用         <ul> <li>2010年6月ローンチ、50億円</li> <li>現地大手企業4社に投資</li> </ul> </li> <li>ベトナム省政府:産業発展戦略</li> <li>大手商社:農業セクター戦略</li> <li>大手食品:販売拡大戦略</li> <li>JICA:南部港湾調査</li> </ul>	<ul> <li>大手商社:環境分野に関する事業戦略及び実行支援</li> <li>大手電機:インフラ分野に関する技術導入戦略及び実行支援</li> <li>エンタメ企業A社:中国戦略、生産戦略、新規ビジネス機会発掘</li> <li>エンタメ企業B社:業界構造分析、現地買収企業に対するPMI支援</li> </ul>	<ul><li>金融機関:環境分野に関する事業 戦略及び実行支援</li><li>● PEファンド:店舗事業者のビジネス デューデリジェンス</li></ul>
 特徴	<ul><li>● 現地企業400社以上とのネットワーク</li><li>● ほぼ全てのセクターに精通</li><li>● 現地における高い知名度</li></ul>	<ul> <li>● 日本/中国の政策連携が可能</li> <li>● 中国国営企業、省庁、ベンチャーキャピタルとの連携</li> <li>ー 通用技術集団、レジェンドキャピタル(Legend Group)等</li> </ul>	<ul> <li>シンガポールを基点として幅広い 地域でのプロジェクト展開が可能</li> <li>シンガポール、インドネシアにおける 豊富な人的ネットワークを保有</li> <li>日系企業による現地企業買収も</li> </ul>

支援

# DIベトナムの概要

### DI ベトナムの概要

### DIVの強み

### 設立/所在

2007年11月/ホーチミン市

### 事業内容

- 1. ベトナム現地企業に対するファンド投資
- 2. 戦略コンサルティング
- 3. M&Aアドバイザリー
- 4. FBオンラインマーケティング(今年1月~)

### 現地人員

日本人 3名

- 細野 恭平(執行役員、DIV社長)
- 田代雅明 (マネージャー)
- 加藤秀行 (マネージャー)

現地スタッフ 20名

### 主な実績

- DIアジア産業ファンド(DIAIF)の運用- 2010年6月ローンチ、50億円
- 越政府: BRVT省政府の産業戦略
- 日政府: 港湾に関する調査
- 日系商社 インフラビジネスDD
- 食品メーカー ベトナム事業戦略、など

- ◆ ベトナム企業のCEOを400社以上訪問- 広範なセクターに精通
- 投資先ベトナム企業の経営に取締役として関与
- ベトナム企業内での高い知名度 - 最近の現地メディア記事



### 堀紘一記事

● コンサルティン グとは何か



### 細野記事

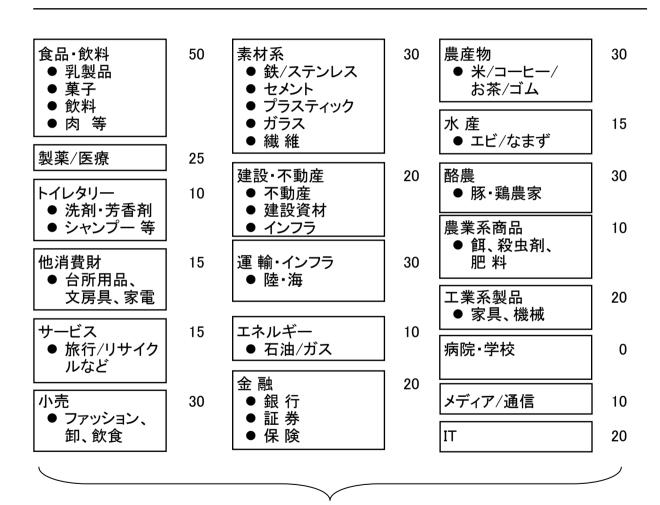
● VNの裾野 産業政策に ついて

# DIベトナムの強み

### DIベトナムの強み

- 自ら、ベトナム企業のCEOを 400社以上訪問
- 10社以上の現地企業に対する DD経験
  - うち有望企業4社に投資
- ベトナムに対する圧倒的知見
  - 広範なセクターに関する ネットワーク・知識
- ベトナム企業の経営を熟知
  - 投資先4社の経営に 取締役として参画
- ◆ ベトナム国内での高い 知名度
  - メディア露出多数

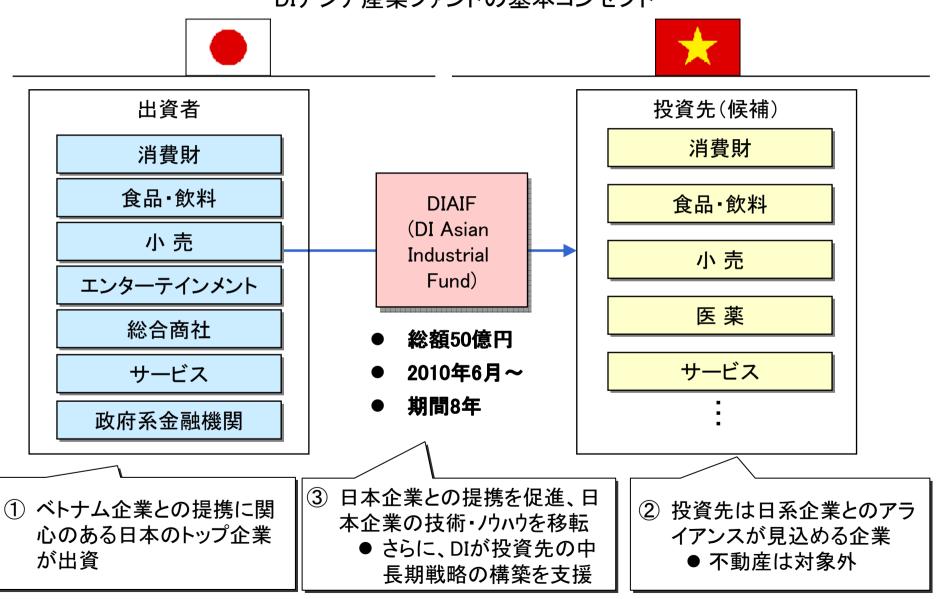
### DIVの保有する現地企業とのネットワーク(カッコ内は企業数)



約400社

# ベトナム向けに50億円のファンドを運用

# DIアジア産業ファンドの基本コンセプト





● 50億円

# 「DIアジア産業ファンド(第1号)」の概要と投資先

<b>扣</b> 开	亜
11込ん	72

# 投資ポートフォリオ

目的		ヌティフード	JVC	Santedo
● <u>アジアの有望企業の支援・育成</u> ● <u>日本企業のプレゼンス向上</u>	設 立	2000年	2000年	2013年
● 投下資本とリターンの回収	所在地	ホーチミン	ハノイ	ホーチミン
設立	事業内容	乳飲料の製造・販売	医療機器の卸売	医薬品の卸売・販売
● 2010年6月 運営会社	強み		 医療機器「卸売」で シェア1位	民間の医薬品・卸売と しては最大級
● DI Investment Partners Limited – DI 50%、オリックス 50%		全国30,000店舗への 販売網	全国1,000の国立病院 へのアクセス	薬局チェーンとして 最大規模(20店舗強)
参加企業 ● DI、オリックス、国際協力銀行 (JBIC)、総合商社A社、 食品B社、食品C社、流通D社、 旅行E社、エンタメF社	DIベトナム による支援	栄養・健康を軸とした 事業拡大 ● 日系食品・飲料 メーカー紹介 ● 新規事業立ち上げ 検討	総合医療サービス 会社化  ● 日系医療機器  メーカー・卸売紹介  ● コーポレート  ガバナンス強化	薬局チェーン事業の 拡大 ● 日系薬局チェーン・ 医薬品卸売紹介 ● 現地でのM&A
ファンド総額	出資比率	37%	31%	25%

# ベトナムにおけるコンサルティングの例

プロジェクト	顧客	プロジェクト概要		
① バリアブンタウ省の産業発展戦略	ベトナム政府	● BRVT省の工業化戦略のレビュー ● 日系を含む大手メーカーの海外工場投資戦略		
② 食品メーカーのベトナム本格展開	日系企業	● 消費者調査 ● 流通分析 ● 新規市場の可能性調査		
③ 建設関連資材の可能性調査 プロジェクト	日系企業	<ul><li>▼ 某建材の市場性・プレイヤーの調査</li><li>● 参入に向けての戦略策定</li></ul>		
④ 農業関連の参入戦略	日系企業	<ul><li>● 農業関連の市場分析</li><li>● 主な販売代理店候補のリストアップ・交渉支援</li></ul>		
⑤ 食品メーカーの買収M&A	日系企業	<ul><li>● 対象候補企業のリストアップ・初期評価</li><li>● 対象候補の事業性評価</li></ul>		
⑥ "地雷源から綿花畑に" ーオーガニックコットン事業戦略	カンボジア 日系企業	<ul><li>● カンボジア農業・綿花栽培の現状</li><li>● 世界のオーガニックコットン・ファッションの現状</li><li>● 事業化戦略</li></ul>		
⑦ベトナム南部港湾の活性化	JICA	<ul><li>● ベトナムの港湾物流事情の現状調査</li><li>● カイメップ港活性化に向けての打ち手の検討</li></ul>		